

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

次代を担う子供たちには、予測が困難な時代にあっても、社会の変化に積極的に向き合い、他者と協働して様々な課題を解決していく資質・能力が求められている。本授業では、小・中学校の校長や教育行政に関わった実務経験を生かし、小学校での「総合的な学習の時間」における優れた実践や具体的な事例を示しながら、教育方法の基礎的な知識と技術及び学習指導の実際を講義する。また、模擬授業を通して、子供たちの実態に即した「総合的な学習の時間」の授業構成や学習指導と評価について学び、実践的な指導力の基礎を培うことを目的とする。

授業計画

第 1 回	学校教育の目標と教育方法、児童理解と教育計画（主体的で対話的な学び）
第 2 回	目標及び内容構成（探求的な学習過程における深い学び）、指導計画の作成
第 3 回	実践に学ぶ① ～学校における目標及び内容の実際、学習指導と評価
第 4 回	実践に学ぶ② ～学習指導の展開と学習評価の実際、学習指導案の作成～
第 5 回	模擬授業① ～「総合的な学習の時間」における授業の導入の工夫～
第 6 回	模擬授業② ～教材教具及び ICT の効果的な活用～
第 7 回	模擬授業③ ～授業における PDCA サイクル、協同的な学びと小中連携・異学年交流～
第 8 回	模擬授業④ ～学習環境の整備と情報発信～ 定期試験
第 9 回	
第 10 回	
第 11 回	
第 12 回	
第 13 回	
第 14 回	
第 15 回	
第 16 回	

到達目標

次代を担う子供たちに必要な資質・能力を理解するとともに、「総合的な学習の時間」のねらいと内容構成、指導計画、学習指導と評価、教材教具の作成及び ICT の活用等に関する知識と技能を身に付ける。また、学習指導案の作成と模擬授業を通して、子供たちの発達を支援する授業展開が可能な技術の習得を目指す。

履修上の注意

- 1 指導計画、学習指導案の作成を実際に行う。
- 2 模擬授業の準備（教材教具、ICT 活用おお）、実施、検証、改善を行う。
- 3 毎回、授業終了時にふりかえりのための確認評価を行う。

予習・復習

- 1 毎回の授業に、該当する箇所の学習指導要領の解説編を熟読し、理解したうえで授業に出席すること。
- 2 次回に向けた課題を確実にやり、授業に出席すること。

評価方法

レポート課題（指導計画・学習指導案等）25%、模擬授業（教材教具の作成等を含む）25%
毎時間のふりかえり確認評価25%、最終筆記試験25%

テキスト

- ・教科書名：小学校学習指導要領（平成29年告示）、同解説「総合的な学習の時間編」
- ・著者名：文部科学省